

2020年4月9日

○ 4月定例所長会見における発電所長挨拶内容

- 所長の石井でございます。
- 福島第一原子力発電所の事故により、今もなお、大変多くの皆さまに、ご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。
- 本日は、私の就任後、初めての定例会見となりますので、まずは、お集まりいただきました皆さまに、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

私は、入社以来、原子力一筋で歩んできており、現場では発電所の運転や設備メンテナンスを行う業務、本社では主に発電所の運営支援やトラブル対応を行う業務に携わってまいりました。前職は福島第二原子力発電所長として3年9ヶ月指揮を執り、今月1日から柏崎刈羽原子力発電所長に就任いたしました。

この柏崎刈羽の地に赴任するのは初めてであります。しかしながら、前任の設楽がこれまで進めてきたことをしっかりと引き継ぐとともに、私自身のこれまでの経験も活かしていきたいと考えております。

当発電所では、福島第一の事故以来、発電所員と協力企業の方々が一体となって様々な安全対策に取り組んでまいりました。私も今後その先頭に立ち、安全を大前提として、工事を着実に進めるとともに、緊急時に対応できるヒトの能力を磨いてまいります。

また、私自身そして発電所として、地域の皆さまとのコミュニケーションをより一層深めていくことで、「地域と共生する発電所」「地域に信頼される発電所」作りを目指していきたいと考えております。それを実現するため

にも、皆さまからのご指導・ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

○ それでは、本日の定例会見として、私からは2点お話しをさせていただきます。

○ まずはじめに、新入社員の配属についてです。

今年度、当社と4つの基幹事業会社は、新卒採用として463名の新入社員を迎え入れました。当発電所には56名が配属され、この中には地元新潟県の学校を卒業した社員も17名含まれています。

今年は、新型コロナウイルスの影響から、入社式や全員を集めた集合研修が中止となり、それぞれの配属先で初日を迎えております。そのため、私からは当発電所の新入社員に対して、当社は福島への責任を絶対に果たしていかなければならないこと、そして様々な課題に対して、柔軟な頭で自ら考え、解決していく力を養ってもらいたいという期待を伝えました。

新たに発電所の一員となった56名につきましても、一日も早く地域の皆さまから信頼していただけるよう、しっかりと育ててまいります。

○ 次に、今月1日より始まった国による新しい検査制度についてです。

これまでは、事業者が規定されたルールや手順に従って対応できているかという観点で検査が行われてきました。今回の検査制度の見直しにより、事業者は自らの責任のもと発電所の安全性向上に向けた取り組みを行い、その結果として発電所の安全性が確実に保たれているのかという観点に、検査の重きが置かれるようになりました。

問題を認識し、評価し、優先順位を付け、是正を行うという一連の行動を、事業者が自主的に、適切に行っていくことがますます重要になったと考えております。今後もこの新しい制度にしっかりと対応し、発電所の安全性の向上に真摯に取り組んでまいります。

- 最後になりますが、国内での新型コロナウイルスの感染拡大により、今月7日に緊急事態宣言が発令されました。新潟県は対象エリアに含まれておりませんが、気を緩めることなく、地域の皆さまにご心配をおかけすることのないよう、引き続き、感染予防・拡大防止策を徹底してまいります。
  
- 本日、私からは以上です。

以 上